

「とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ及び写真コンテスト」受賞作品決定!

多面的機能支払交付金を活用した活動を通して、とちぎの豊かな農業・農村の保全の重要性を多くの県民に理解してもらうとともに、活動への積極的な参画を促進するため「とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ及び写真コンテスト」を開催し、次の作品の受賞が決定しました。

応募数

- マップ(生きものマップの部) : 83点(85組織)
- マップ(地域の宝発見マップの部) : 1点(1組織)
- 写真(生きもの調査の部) : 98点(44組織)
- 写真(地域ぐるみの活動の部) : 85点(35組織)

田んぼまわりの生きものマップ

🌸 最優秀賞 🌸



神長地域自然を守る会(那須烏山市)

○ 優秀賞

- | | |
|-----------------|--------|
| みどりの里こてやま | (宇都宮市) |
| 小泉環境保全会 | (益子町) |
| あらい水と緑の会 | (栃木市) |
| みたとうぶ保全会 八幡の郷小宅 | (小山市) |

○ 審査員特別賞

- | | |
|------------|-------|
| 西山田自然環境保全会 | (栃木市) |
| 富田七環境保全会 | (栃木市) |

とちぎの豊かな農業・農村づくり写真

田んぼまわりの生きもの調査の部

🌸 最優秀賞 🌸



夢・はにしの里協議会(壬生町)

○ 優秀賞

- | | |
|----------|-------|
| 前沢環境保全会 | (益子町) |
| 大郷戸環境保全会 | (益子町) |
| 里西環境保全会 | (益子町) |

○ 審査員特別賞

- | | |
|----------------|-------|
| みたとうぶ保全会 糺の杜渋井 | (小山市) |
|----------------|-------|

地域ぐるみの活動の部

🌸 最優秀賞 🌸



小山水保全会協議会 南和泉環境保全会(小山市)

○ 優秀賞

- | | |
|----------|--------|
| 下川岸農地保全会 | (宇都宮市) |
| 前沢環境保全会 | (益子町) |
| 長久保五行会 | (さくら市) |

○ 審査員特別賞

- | | |
|----------|-------|
| 東田井環境保全会 | (益子町) |
|----------|-------|

※益子町の受賞組織は、全て益子町環境保全広域協定運営委員会の下部組織です。

本年度の全ての応募作品は、本協議会のホームページにてご覧いただけます。

「多面的機能支払交付金地域営農ビジョンワークショップ研修会」を開催

県では、多面的機能支払交付金制度に取り組む活動組織が、地域の将来像を話し合い、構想としてまとめる地域営農ビジョンの策定を進めています。

令和元(2019)年度は、地域営農ビジョン策定の中心となる人材育成を目的にワークショップ研修会を開催。県内24市町の地域営農ビジョンモデル地区の構成員や、市町及び県の担当者など125名が参加し、ワークショップによる意見の引き出し方や合意形成のポイントなど、実践に向けた運営方法について学びました。

地域の目標を明確にすることで、参加者の協力が得やすくなり、実行への体制強化が期待されることから、今後も組織の主体的な話し合いの促進に向けて支援を進めていきます。



ワークショップ実践の様子<講義>
(講師：TEAM・田援 筒井義富 氏)



ワークショップ実践の様子<演習>

「令和元年度 多面的機能支払交付金に係る活動組織研修会」を開催

令和2年2月14日、宇都宮市文化会館において開催し、活動組織・事務担当者・関係団体等約1100名が参加しました。

本研修会が活動組織の皆様にとって本交付金の理解促進、新たな取り組みへのヒントとなり、今後の活動の充実に繋がれば幸いです。

表彰式

とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ及び写真コンテスト表彰式
(本協議会の久保 寿夫会長による表彰状授与)

研修会

○「多面的機能支払の現状と今後の展開方向」

関東農政局農村振興部農地整備課
多面的機能支払推進室長 奥間 靖四 氏

○「地域営農ビジョンの作成について」

栃木県農政部農村振興課副主幹 松井 丈 氏

○「優良事例紹介 ワンチーム (動画を活用した広報活動)」

水明会 (宇都宮市) 江連 征子 氏

○「資源向上活動 (共同) における自主施工事例」

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会 事務局 大島 俊久



コンテスト受賞者による記念撮影



水明会 江連氏による講演

多面的機能支払交付金 令和2年度 制度改正のポイント

加算措置の内容について、以下のとおり追加・見直しとなります。

・多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援

①加算対象活動に「やすらぎ・福祉及び教育機能の活用」を追加

- ア. 専門家等と連携し、地域独自の自然・風土等を活用して、来訪者にやすらぎを感じさせる場を提供する取組
- イ. 教育機関と連携し、農業体験や自然体験を通じた学習の場を非農業者に提供する取組

②「防災・減災力の強化」の中に「災害時における応急体制の整備」を追加

災害時における応急対策に関する計画を関係者と連携して策定し、被災した農業用施設の応急措置や機能確保に向けた体制整備

・農村協働力の深化に向けた活動への支援

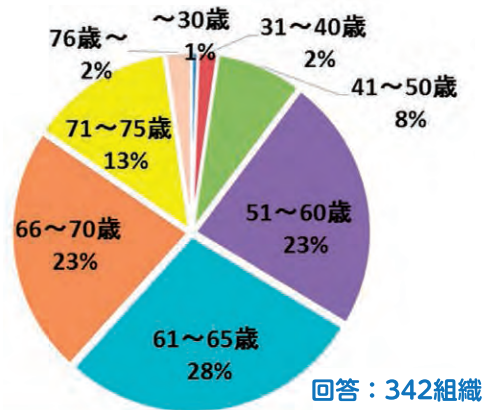
③加算措置の要件を緩和(下線部が改正箇所)

構成員のうち非農業者等が占める割合が4割以上かつ実践活動に構成員の総人数の8割(役員に女性2名以上参画している場合は6割)以上が毎年度参加する場合に適用

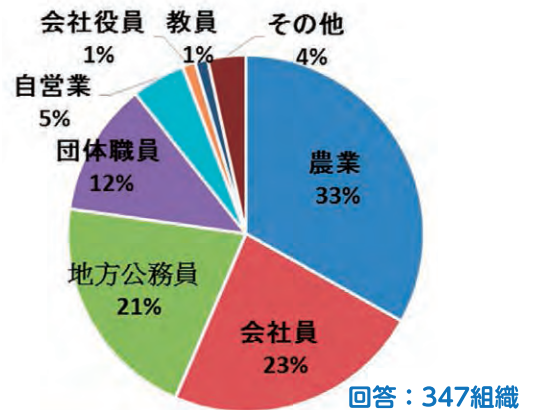
令和元年度多面的機能支払交付金アンケート調査結果について

事務担当者の年齢及び職業

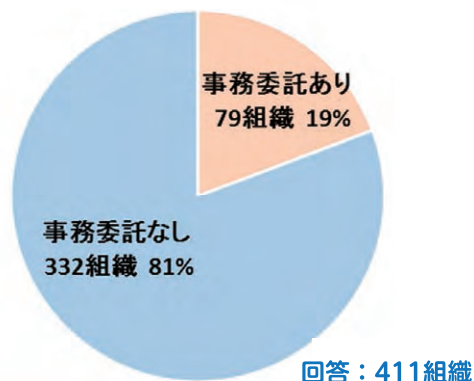
年齢別割合



職業別割合



事務作業の委託状況



生態系保全活動参加者数

生態系保全活動		H30	H29
参加人数(人)		18,314	18,282
内訳	子供(中学生以下)	6,687	7,518
	大人	11,627	10,764



令和元年度の各種表彰事業におきまして、
以下の活動組織が表彰されました。

第1回栃木県農業大賞（農村活性化の部）		
特別賞	鹿沼市	磯町の自然を守る会
	那須烏山市	興野ほたるの里づくり環境保全会
	那須町	峯岸地区農地維持組合
多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰		
優秀賞	足利市	島田町水と緑を守る会



第1回栃木県農業大賞表彰式



多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰

県協議会からのお知らせ



土地改良区との連携には様々なメリットがあります！

土地改良区

- ・ 農業者のニーズに合った水管理が求められている
- ・ 組合員数の減少により施設管理が困難



活動組織

- ・ 交付金事務を行うための事務作業に慣れた人が必要
- ・ 施設修繕の技術的サポートが必要



土地改良区

施設管理准組合員制度※を活用して連携を強化

- 地域営農の発展に即応できる水供給
- 基幹的な施設から農地まわりの水路まで安定した管理を実現
- 支線水路を管理する人手不足の解消
- 地域全体の効率的な施設管理を考えながら、草刈り等を交付金の活動組織と共同で行うことも可能
- 事務委託収入が入ってくる



双方にメリットがある

活動組織

- 土地改良区管理施設の管理作業に協力すれば、それに見合う収入が入ってくることもある
- 土地改良区に事務委託することができたら、書類作成や金銭管理の労力が軽減され、安心して活動に専念できる
- 施設の診断、設計や発注に当たって技術的助言などのサポートを受けられる
- 取り扱う施設の事業区分が明確(補助金の二重投資防止)

※施設管理准組合員制度（土地改良法第15条の2～4、第32条第4項、第36条の2）

- ・ 地域の活動組織が土地改良区の施設管理准組合員となることができる。
- ・ 施設管理准組合員は、土地改良施設の管理への協力を求められる一方、土地改良区の総会に出席し、意見を述べる事が可能である。

編集・発行 栃木県農地水多面的機能保全推進協議会

〒321-0901宇都宮市平出町1260番地 TEL：028-660-5702 FAX：028-660-5711
E-mail：nouchimizu@tcgdoren.or.jp URL：http://www.tcgnouchimizu.net/